

- 問1 ある都市の統計において、1月の平均気温が5度付近、8月の平均気温が25度を超過しており、降水量は9月に200ミリを超えるピークがある一方で冬場は著しく少なくなっています。このような気候の特徴が見られる地域において、冬の生活や産業で見られる光景として適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 道路の積雪を溶かすための消雪パイプから水が出る風景。 2. 夏の水不足に備え、多くのため池が点在している風景。 3. 冬の晴天を利用して、洗濯物や干し柿などを干す風景。 4. 厳しい寒さに備え、建物の窓を二重にする風景。
- 問2 岡山県などの瀬戸内海沿岸地域において、年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い「瀬戸内の気候」が見られる主な理由として、地形の観点から説明したものを選びなさい。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため。 2. 周囲に高い山地が存在しないため、湿った空気がとどまることなく吹き抜けていくため。 3. シベリア高気圧の影響を一年中強く受け、乾燥した空気が常に供給されるため 4. 暖流である黒潮の影響を直接受けることで、上昇気流が発生しにくく雲が発達しにくいいため。
- 問3 扇状地において、標高の高い扇頂・扇央部で果樹園が多く開かれ、標高の低い扇端部で水田が多く開かれる地形的・自然環境的な理由の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 扇頂・扇央部は砂利が多く浸透性が高いため果樹園に適し、扇端部は地下水が湧き出て水が得やすいため水田に適している。 2. 扇頂・扇央部は粘土質の土壌で保水性が高いため果樹園に適し、扇端部は水はけが非常によいため水田に適している。 3. 扇頂・扇央部は湧水が豊かで洪水が多いため果樹園に適し、扇端部は水が得にくく乾燥しやすいため水田に適している。 4. 扇頂・扇央部は標高が低いいため果樹園に適し、扇端部は標高が高く冷涼な気候であるため水田に適している。
- 問4 日本の河川の特徴について述べた文のうち、日本最長の河川である信濃川に関する記述として適切なものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 北海道の中央部を流れる日本で3番目に長い河川であり、かつては大きく蛇行していた。 2. 山梨県から静岡県へと流れ、日本三大急流の一つに数えられるほど流れが速い。 3. 長野県から新潟県へと流れ、下流域には稲作が盛んな越後平野を形成している。 4. 関東平野を流れる日本で最も流域面積が広い河川であり、別名「坂東太郎」と呼ばれる。
- 問5 日本で見られるリアス海岸の分布やその特徴について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 有明海の沿岸には、潮の満ち引きによって現れる広大な干潟が形成されている。 2. 三陸海岸の北部は、一貫して複雑に入り組んだ入江が続くリアス海岸のみで構成されている。 3. 福井県の若狭湾周辺には、複雑な海岸線を利用した養殖業や天然の良港が発達している。 4. 京都府の天橋に見られるように、砂が堆積して細長く突き出した砂州が発達している。
- 問6 三重県南部に位置し、月別の降水量を示した統計において、6月に400ミリ、9月に690ミリを超える非常に激しい降水が記録されるなど、日本屈指の多雨地帯として知られる都市はどこですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 松阪市 2. 四日市市 3. 尾鷲市 4. 津市
- 問7 瀬戸内海沿岸の地域における降水量の特徴について、日本海側の地域や太平洋側の地域と比較した説明として正しいものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響により、冬の降水量は日本海側の地域とほぼ同じ水準になるが、夏の降水量は極端に少ない。 2. 日本海側のように冬に降水量が増えることも、太平洋側のように夏に降水量が増えることもなく、年間を通じて降水量が少ない。 3. 日本アルプスに遮られた中央高地と同様の気候であり、冬の寒さが厳しく、夏にのみ集中的に雨が降る。 4. 黒潮の影響を強く受けるため、太平洋側の地域と同じように、夏から秋にかけての降水量が日本で最も多い。
- 問8 日本アルプスの東側に位置するフォッサマグナが、日本の地形においてどのような役割を果たしているか、その性質と名称の由来に基づいた説明として正しいものを選び。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. プレーートの沈み込みによって形成された世界で最も深い海溝の一部であり、名称はドイツ語の「深い谷」に由来する。 2. 日本列島を東日本と西日本に分ける地質学的な境界であり、名称はラテン語の「大きな陥没した場所」に由来する。 3. 火山灰が堆積してできた水はけの良い広大な平野部を指し、名称はポルトガル語の「白い砂」に由来する。 4. 太平洋側と日本海側の気候を分ける中央分水嶺としての役割を持ち、名称は英語の「巨大な山」に由来する。
- 問9 三重県を含む日本の太平洋側に位置する地域の気候について、季節風が与える影響とその特徴を説明した文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 夏は南西諸島からの暖かく湿った空気が流れ込み、冬はシベリアからの季節風が直接吹き込むため一年中雨が多い。 2. 夏は湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬は山を越えた乾いた風が吹くため晴天が続いて乾燥する。 3. 一年を通じて季節風の影響が小さいため、季節ごとの降水量の変化が少なく、年間を通して温暖である。 4. 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多くなり、夏は南東からの季節風が山地で遮られるため乾燥する。
- 問10 統計資料によると、新潟県上越市では12月から2月にかけての月間降水量が250mmから350mm以上に達するのにに対し、山脈を挟んだ福島県福島市では同期間の降水量が約50mm程度と極めて少なくなっています。このように、冬の日本海側で降水量（降雪量）が非常に多くなる気候のメカニズムとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 南東から吹く季節風が、太平洋の上空で蓄えた湿った空気を運び、日本海側の斜面で急激に冷やされるため。 2. 北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に暖流の影響で湿った空気を蓄え、日本の山脈にぶつかって上昇するため。 3. シベリアから吹き出す乾燥した冷たい風が、日本列島の山脈を越えた後に日本海の水分を吸収して雪に変わるため。 4. 小笠原気団から吹き出す湿った暖かな空気が、冬の日本海を流れる寒流の影響を受けて雪を発生させるため
- 問11 日本の河川が持つ「長さが短く、流れが急である」という特色は、日本の気候や地形と深く関わっている。この特色が日本の人々の生活や自然災害に与える影響についての記述として、最も適切なものはどれか。 (2018年 京都府公立入試 類似)
1. 河口付近で流れが非常に穏やかになるため、大規模な三角洲が形成されやすい 2. 流れが緩やかなため、内陸部まで大型船を利用した水上交通が発達しやすい 3. 大雨が降ると短時間で水位が急上昇し、洪水が発生しやすい 4. 年間を通じて水量の変化が非常に少なく、安定した発電が可能である
- 問12 ある都市の統計において、年間の降水量が2400mmを超過しており、特に12月から2月にかけての降水量が他の月と比べて極端に多くなっている状況が確認されました。このような特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 夏に湿った南東の季節風が直接吹き込むため 2. 梅雨から夏にかけての台風による影響が大きい 3. 年間を通じて寒流の影響を強く受け、雲が発生しやすい 4. 冬に水分を蓄えた北西の季節風が山脈にぶつかるため